

日々の消費で世界は変わる

しまエコ

COOL
CHOICE

未来の
ために、
いま選ぼう。

いま、紹介したい作品
舟木木工所
(雲南市)

表紙の
1枚



特 集

エシカルな商品を選ぶ時代 実例紹介！島根県内での素敵な取り組み

「エシカル消費」とは？／今日の買い物からできること／エシカル消費と地域の「脱炭素」／
オロチさんとしろくまさんの「ベジミート」はいかが？／表紙の1枚 舟木木工所の組子細工

エシカルな商品を選ぶ時代

鳥根県内での実例紹介

最近よく耳にする「エシカル消費」をご存知ですか？「エシカル」とは、「倫理的な・道徳的な」という形容詞。「消費」は、私たちの日々の買い物やサービスを選ぶ「消費行動」のことです。

これまでの消費は、見栄えや値段、期限等で選ばれることが多かった印象ですが、今は商品やサービスの裏側にどんな「背景」があるか、誰が・どのように作り、選ぶと社会がどう変化するかを考えた消費が注目されています。

生産過程で自然環境や労働者への配慮がある、売り上げの一部が寄付される、地元や被災地の応援になる、社会の課題解決に取り組む企業のものなど…。私たちは多様な角度から「背景」を知り、選ぶ消費によって社会をより良くすることができます。

【参考】消費者庁「エシカル消費とは」、「みんなの未来にエシカル消費」



注目される5原則

- 1 環境への配慮
- 2 社会への配慮
- 3 人への配慮
- 4 地域への配慮
- 5 生物多様性への配慮



カナダのチョコレートライターより「世界の美味しいチョコレート10選」に選ばれ、国内外で高い評価を受けるNANAIROさんのチョコレートは、ベネズエラやドミニカの小規模農園から『フェアトレード』で仕入れたカカオ豆が使われています。フェアトレードとは、「公平・公正な貿易」のこと。労力に見合う適正な価格で継続的に取引をすることは、農園や村の暮らしを支え、カカオ原産国が抱える貧困や児童労働問題を防ぎ、アグロフォレストリー（森林農法）を推奨し、現地の森を守ることに繋がります。食べる人も、生産に関わる人もみんなが笑顔になるチョコレートです。



La chocolaterie NANAIRO (ラ ショコラトリ ナナイロ) 出雲市斐川町坂田1934 Tel:0853-25-7676

出雲市

ラ ショコラトリ ナナイロ

La chocolaterie
NANAIRO

フェアトレードのカカオ豆とこだわりの食材を使用

大田市

サキオリ プラス

彩き織 PLUS

着物のアップサイクル・障がい者支援

彩き織PLUSさんでは、地域の方を中心に持ち込まれた「思い出の着物」を使い、色とりどりのバッグや小物を制作しています。着物を細かく裂いて紐状にしたものをよこ糸に使う「裂き織り」という技法は、物が豊富にない時代から伝わる伝統的なアップサイクル。この布を一一列丁寧に織っているのは、障がい者施設の利用者さんです。



「自分の得意」を大切に、パンや野菜づくり、企業からの委託作業に生き活きと従事する姿は、地域の雇用創出や経済の循環、材料や商品の運搬距離短縮によるCO₂排出の削減、地産地消の応援にも繋がっています。

社会福祉法人 銀の鳩(はとぼぼ)
大田市大田町大田1674-16 Tel:0854-82-4688

COOL CHOICE

今日の買い物から
できること

調べる

どんな商品
お店か
あるかな？



「しまエコショップ」に登録
した環境に優しいお店



地元の食材をふんだんに
使ったカフェ

実践！



消費期限が近いものから「てまえどり」

パッケージについた「環境ラベル」をチェック



エシカル消費と地域の「脱炭素」 どのように関わっているの？

私たちが毎日できる「エシカル消費」の実践は、これ以上CO₂の排出を増やさない脱炭素社会へのステップアップを後押しします。地域で作られる農産物や伝統工芸品、ファッションアイテム、アップサイクル商品などは輸送距離の短縮からCO₂の排出や過剰包装が少ないのがメリット。原材料やエネルギーが地域資源・経済の循環に関わる商品を選ぶのもいいですね。

【参考】CCかわさき「消費と脱炭素」、COOLCHOICE「ゼロカーボンアクション30」

12 つくる責任
つかう責任



2030年までに世界が達成すべき17の目標

津和野町

タワラシビョウテン シキノカ

俵種苗店
SHIKINOKA



ストーリーのある買い物、丁寧に心で暮らし

歴史と文化が息づく津和野の城下町。その傍らに約150年間町を見守る「俵種苗店」があります。趣ある店内に並ぶのは、植物の種苗や店主が全国から厳選した「ストーリー」ある商品。石見の伝統工芸や木材とコラボレーションした器、地域の茶葉と鉄粉で染め上げたストール、元はコーラ瓶だったガラスのコップ…どれも身に着けて心地よいもの、環境や資源を大切にしたいアップサイクルな製品、未来に残したい職人技など「大切にしたい」ものばかり。また、スパイスや穀物は県内でも珍しい「量り売り」で必要な分だけ購入することができる。日々の暮らしに寄り添う「お気に入り」と豊かさが見つかります。

俵種苗店 SHIKINOKA
鹿足郡津和野町後田口212
Tel:0856-72-0244



安来市

えーひだカンパニー株式会社

地産地消、持続可能な地域づくり

人口減少と高齢化が進むなか、何年先もふるさとでの暮らしや農業を諦めず、「今日もえーひだ(良い日だ・比田地区だ)」と言えるよう、えーひだカンパニー株式会社さんは地域と共に

行政に頼り切らない持続可能な地域づくりを行っています。地元産の食材を使った加工食品のブランド化や地産地消商品の販売、負担の大きな農作業を受託することで地域を支え、収益の一部を地域貢献事業に回す。安心して住み続けられる自立した地域につながる活動は県内外から注目されています。

えーひだカンパニー株式会社 安来市広瀬町梶福留1268 Tel:0854-34-9555



クーミード

空水土 coup mead

益田市

「誰一人取り残さない」を
地球上全ての生き物へ

はちみつ好きが選ぶ、最も美味しいはちみつコンテスト「ハニー・オブ・ザ・イヤー」で2年連続入賞した空水土さんは、「蜂から始めるエシカル」をキーワードに、環境やミツバチに負担をかけず、できるだけ地域で消費する養蜂を行っています。生きものに影響を与える農薬は使わず、蜜を採る「採蜜」を年1、2回におさえ、冬は巣箱の周りに花を植えるなど、ハチ達を焦らせない自然な越冬をサポートしています。空水土さんはハチを家族とし、ハチを取り巻く地域の環境や生態系を第一に考え、持続可能な養蜂を目指します。



第9回環境省グッドライフアワード実行委員会特別賞
＜エシカル賞＞受賞



ご紹介のエシカルで
素敵な活動について
詳しくはコラムで
ご覧ください♪



環境保全と
経済発展が
両立した持続可能な
成長を目指す時代です

「グリーン成長」
ゆーやつかい



オロチさんと、しろくまさんの

「ベジミート」は いかが？

今日の昼飯は何食うかなあ〜
肉でも魚でもない気分だけど…とりあえず肉かいなあ。

そんな2択に絞らなくても！
じゃあ、「ベジミート」を使った料理はどうですか？

はあ「ベジミート」??

「植物性ミート」、「代替肉」とも言われる、大豆や野菜でできた植物由来のお肉です！
最近ではハンバーガーなどにも使われる注目の食材なんです♪

へえええ!! 植物で作った肉とか面白いが!!

ヘルシーで健康的ですし、植物性の食事はCO₂の排出も少ないので、選べば気候変動への対策もできちゃいます。

お! すごいがや。でも肉ってそんなCO₂ 出すかいな?

お肉となるウシやブタ、トリを育てるところを想像してみましょう。

家畜から排出される温室効果ガスは、世界の温室効果ガス排出量の14%！これは全ての乗り物から排出される量と一緒に。



お肉の生産に地球の陸地の四分の一を使用。家畜のエサになる穀物の栽培や飼育のために起こる森林破壊や生態系の破壊が問題。

家畜の排泄物による水質汚染などなど…。

はあー! 確かに考えたことなかったけど納得だわ。エサもようけ食うしな…そのエサを育てる水や土もいっぱいいるし…

そうなんです! だから、「気分じゃないけどお肉」は勿体ない! 肉より魚、魚より野菜…とCO₂の排出は少なくなります。旬の魚や地域のお野菜、ベジミートにも目を向けて、いま「本当に食べたいもの」を美味しく残さず食べましょう♪

ふんふん確かに。じゃあ今日は「ベジミート」食ってみいかな。

【参考】環境省「サステナブルで健康な食生活の提案」、グリーンピースジャパン「動物性が環境に悪い理由」

表紙の1枚



いま、紹介したい作品

自然・時代に寄り添い、進化し続ける伝統

雲南市加茂町にある「舟木木工所」では、日本の伝統技術「組子細工」を用いた様々な作品を制作しています。

出雲地方を始めとした「島根県の木」を中心に、小さな木片を組み合わせて作る幾何学模様は200種類以上。代表の舟木清氏(80歳)は厚生労働省の「現代の名工」に認定されています。

「木というのは育ったところの気候や環境によって色合いや強さが違います。遠くから取り寄せるのではなく、地域のものを使うのが一番。これは森林資源を循環させることでも大切なことです。」と舟木さん。

人が入らず荒れた山は、保水力が衰え災害時に悪影響が出ることも。地域の木を使う伝統工芸は森林資源の循環や林業の活性化の一助を担い、CO₂をよく吸収する強く豊かな山を守ることにつながります。

「木の世界には膨大な知識もあります。神が宿るとされる木、縁起の良い木、薪や炭に適した木…これらも伝統と共に未来に伝え、地域の力にせねばなりません。」



現在、舟木木工所では若い職人が技術を継承するため、日々製作に励むと共に、アクセサリや自由に作るキット商品、木育玩具など、時代に寄り添った新たなデザインを生み出し、私たちの身近に伝統の魅力を運んでいます。

「彼らが着目する新たな木の可能性に飽くことがありません。固定概念にとらわれず、基礎があるうえで時代に合ってこそ伝統。未来に繋いでいってほしいです。」

新たなサステナブルな価値観と共に、自然・時代に寄り添うカタチで発信される舟木木工所の組子細工は、飛鳥時代より受け継がれる伝統と共に、未来に豊かな資源を繋ぎます。



ふなきもちゅうしょ
舟木木工所

〒699-1122
島根県雲南市加茂町三代525
TEL 0854-49-7301

*ご訪問の際は必ず事前にご連絡をお願いします。